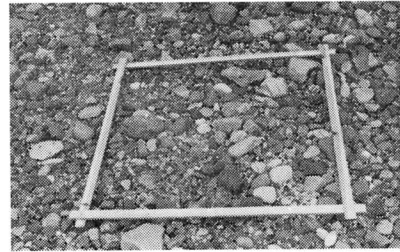


っているか調べる。

- ② ⑦の場所で20mの長さを取り、川原の近くと対岸の近くでの流れの速さについて、流速を測る。
- ③ ⑦の川底を水中のぞき箱で観察し、川原の近くと川原から離れた場所の砂やレキの違いを調べよう。また、砂などの流され方についても観察する。
- ④ ④付近の水の流れと川の深さ、ガケのけずられ方などについて考える。
- ⑤ 川原の⑦、⑩地点のレキの大きさや川原の高低を調べ、どうしてこのような違いが起こるのかを考える。

(4) 川原のレキを調べる。

川原でのレキや砂のつり方の平均的な所を選び、1m四方の方形枠を置く。



方形枠内に入っている、長径5cm以上のレキをすべてビニルシートに取り出す。(表面に見えるレキのみ)

- ① レキの大ききで分ける。  
レキの大ききによって5~10cm, 10~15cm, 15cm以上に分け、その数を調べる。
- ② レキの形で分ける。  
レキの形でまるい石、ややまるい石、角ばった石の3つに分け、その数を調べる。
- ③ レキの種類は珪岩、凝灰岩が多く、他に流紋岩や緑色泥岩、花こう閃緑岩なども見られる。これらのことから、一の戸川の上流には、火成岩や変成岩でできている山地のあることが推定できます。
- ④ 調べた結果を表にまとめる。

大 き さ (cm)			形			種 類			
5~10	10~15	15以上	円	垂円	角	珪岩	凝灰岩	流紋岩	緑泥片岩
42	12	4	15	28	15	24	16	7	7
72%	21%	7%	26%	48%	25%				